

# 3月のねらい及び各クラスの活動内容

月のねらい		・進学、進級への期待に自信を持ち、充実した生活を送る。(身の回りのことを自分で行ったり、手伝ってもらいながら行う) 友だちと交流を深め、意欲的に遊ぶ。(異年齢との遊びを楽しむ)					
クラス		年長児(さくら組) 活動	年中児(うめ組) 活動	年少児(たんぽぽ組) 活動	未満児(2歳児) 活動	未満児(1歳児) 活動	未満児(0歳児) 活動
1	金	ひな祭り誕生会	ひな祭り誕生会	ひな祭り誕生会	ひな祭り誕生会	ひな祭り誕生会	ひな祭り誕生会
2	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
3	日						
4	月	お別れ会準備	お別れ会準備	戸外散策・散歩	園庭遊び・散歩	散歩・表現遊び	散歩・園庭遊び
5	火	交通安全教室・避難訓練	避難訓練	交通安全教室・避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練
6	水	製作帳	製作帳	製作帳製作(手形)	製作帳製作(手形)	フィンガーペイント	
7	木			触れ合い遊び			
8	金	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日・園外保育	お弁当の日	お弁当の日
9	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
10	日						
11	月	身体測定	身体測定	戸外散策・散歩	園庭遊び・散歩 身体測定	散歩・表現遊び	散歩・園庭遊び
12	火	作品をまとめる	作品をまとめる	表現遊び	表現遊び		製作(絵具遊び)
13	水	持ち物をまとめる	持ち物をまとめる	指先遊び			
14	木	お別れ会	お別れ会	お別れ会	お別れ会		
15	金	散歩(トロロの山)	散歩(トロロの山)	触れ合い遊び			
16	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
17	日						
18	月	卒園式の練習	卒園式の練習	戸外散策・散歩	園庭遊び・散歩	散歩	散歩・園庭遊び
19	火	異年齢交流	リズム遊び	リズム遊び			
20	水	修園式及び写真撮影	修園式及び写真撮影	修園式	修園式及び写真撮影	修園式及び写真撮影	修園式及び写真撮影
21	木						
22	金	異年齢交流	異年齢交流	触れ合い遊び			
23	土	卒園式	卒園式	卒園式	卒園式	卒園式	卒園式
24	日						
25	月	家庭保育協力期間	家庭保育協力期間	家庭保育協力期間	家庭保育協力期間	家庭保育協力期間	家庭保育協力期間
26	火						
27	水						
28	木						
29	金						
30	土						
31	日						
前月の各クラスの自己評価		卒園製作や卒園の呼びかけなどを取り組む小学生になる意識が高まっていく。自分たちで考えあったり、友だちと意見を出し合いながら、会話も盛り上がっている。生活のきまりや約束事は、守れたり、守れなかったりで、落ち着かないところがある。	雪が積もった際には冬ならではの遊び(雪合戦・そり遊び・雪だるまづくり等)を楽しむことが出来たが、体調不良の子もたくさんいたことから体調を考慮し外遊びの回数が減ってしまった。室内でも思い切り体を動かせるような集団遊びを楽しんだ。	雪遊びや冬の自然との触れ合いや体を元気に動かす時間を確保していたので、寒さに負けず健康的に戸外遊びに親しむことができた。製作の時間も確保していたが、自由な発想で指先を使いながら制作を楽しみたいという姿も多かった。	雪遊びや堤防に出掛け、自然の中での遊びを保育士と一緒に楽しむことができた。また子ども達自ら「～くん、ちゃん遊ぼう」と誘い、集団遊びを行う姿も見られたが、やり過ぎたというところがあるので約束事や様子を見ながら援助、声掛けを行った。	豆まきや雛祭りに向けて製作遊びを楽しんだ。クレヨンを使うことに慣れ、夢中になって色塗りや絵描きをしていた。雪が積もったものすくりに溶けてしまっ季節ならではの雪遊びがあまり楽しめなかった。クレヨンを使い慣れて遊び込むことが出来たように、雪遊びの機会をもっと作り、雪に触れたりそり遊びの経験を積み重ねていけなかったことが残念だった。	豆まき会に向けて鬼を作ったり、「鬼は外」とボールを鬼のお面に投げたりと、豆まき会に期待を持って参加できるような活動を取る入れる。当日は鬼の恐怖に投げることは出来なかったが、後日ボールを出す鬼に向かって投げたりと楽しむことが出来た。
自己評価を踏まえての改善点		生活のきまりや約束事を確認しながらも、戸外遊びや集団遊びをしながら、友だちと十分に触れ合いながら最後の園生活を楽しんで過ごせるようにする。また、小学校に向けて、おしほりを使わないで過ごしたり、ペーパータオルを使わず、自分のハンカチ・ちり紙を使って過ごしていく。	時間を見つけて戸外遊びを積極的に行っていくとともに、体調管理を引き続き気をつけていく。進級に向けての期待が持てるよう、うめ組主体の活動では個々が主役になれるような役割を与え自信をつけさせていきたい。	戸外での活動は継続的に行い、季節の移り変わりを肌で感じながら過ごしていきたい。製作も興味によって自由な発想を楽しめるような時間も取り入れる。異年齢児での活動を取り入れ、進級に対する期待をもっていけるようにする。	再度ペーパータオルの使い方、鼻水のかみ方を伝えていけながら、できない時などは援助しながら「できた！」という自信につなげていきたいと思う。また以上児さんと過ごす中で進級へ意識、期待をもっていけるようにする中で、クラス最後の思い出として園外保育に出掛け、沢山触れ合い楽しめるようにする。	製作遊びに夢中になって楽しめる子が増えた一方で、どうしてもすぐに飽きてしまう子がいるため、その子ももっとやってみようと思えるような誘い掛けや声がけを工夫していきたい。また、夢中になっている子の空間を大切にしながらも、徐々に次の遊びへと興味を移行していけるようにしていきたい。	体調面で戸外遊びを控えていたため、来月は園庭遊びや散歩を多く取り入れ、戸外で体を動かし春を感じられるような活動を取り入れていきたい。 ・製作では絵描きやシール貼りを好む子が多いため、一人一人が集中して出来るような環境設定をしていきたい。

